

# みんぷくの「支援実績」：フェイズが変わった事を意識する！

コミュニティ作りの課題を学ぶ

こんな状況の中でも みんぷくは...

各財団の助成を受けて、広範囲な事業展開

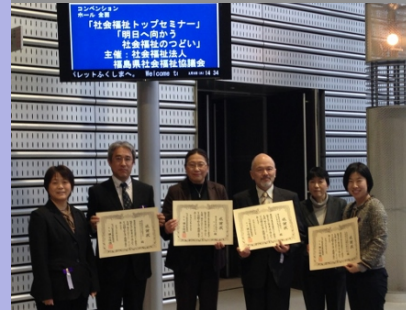
被災者・避難者に寄り添う支援・実績とその学び

被災者・避難者向け情報紙  
「一歩一報」17,000部を毎月発行



一歩一報の編集会議（2014年）

被災者、避難者が気軽にお立寄りできる  
スポット「まざり～な」の展開



福島県社協より社会福祉功労賞（2013年）



相互作用

相互作用

大学機関との連携による学び



熊本大学 石原明子先生：紛争解決学入門（2013年11月22日）

イベントの側面支援



富岡町、仮設住宅のお祭り（2014年8月9日）

企業のCSRコーディネート



(株)デサント 健康教室（2013年より双葉郡・5町で実施）

中間支援としてのコーディネート・サポート

変化し続ける多様な支援ニーズに対応するスキル習得

相互作用

# みんぷくの「課題認識」：孤立する人を生まないためには？

## コミュニティ作りの課題を学ぶ

長期的支援は地元のチカラで！

継続的な支援と多様なサポート体制

4つの課題「心の問題」「自立の問題」「社会的な問題」「地域再生の問題」を設定し、業務に当たる。



課題  
1

### 長期避難による精神的なストレスの緩和

心の問題

震災の  
記憶  
喪失感  
将来の不安  
が影を落としている

- ・長期的、継続的な支援には→地域の環境、被災地の現状把握が重要。

課題  
2

### エンパワメントを重視したサポート

自立の問題

一方的な支援になりがちであった

- ・盲目的な奉仕者にならない
  - ・ニーズ把握から始める
- 住民らの内在するチカラ（知識や経験）とやる気を引き出す活動

課題  
3

### 復興住宅の課題は常に高齢者問題を含む

社会的な問題

避難先コミュニティでの急速な高齢化

- ・自治会長のサポート
  - ・孤立の回避
  - ・楽しみ、健康維持
- 良きパートナーと信頼関係を構築。
- ・社会福祉協議会
  - ・地域包括支援センター
  - ・民生児童委員
  - ・NPO 等

課題  
4

### 団地入居者と周辺地域を結ぶ

地域再生の問題

画一的な支援には限界がある

- ・地域の伝統、文化の理解から始める。
- ・復興公営住宅を受け入れる地区だからこそ可能な新しい行事、交流会の可能性を探る。

# みんなぶくのネットワーク：連携と現場重視

様々な課題  
に挑戦！

みんなぶく  
参画会合

「新しい東北」官民連携推進協議会 会員 2015.10～ ・小名浜会議主催2015.2～  
 福島県「復興に向けた多様な主体との協働推進戦略会議」メンバー  
 福島県「平成24年度総合計画・地域づくり評価委員」メンバー  
 いわき市「復興ボランティアセンター連絡会」メンバー  
 福島県・いわき市・双葉郡合同「社会福祉協議会連絡会」メンバー

## NPO

